

「九条の会・岐阜県交流会 in 高山」に参加して (2015年9月13日)

9月13日「九条の会・岐阜県連絡会交流会 2015 in 高山」が高山市の飛騨・世界文化センター「食遊館」で開催された。(参加費 500 円)

会場は高山市郊外の「まつりの森」を通過すると、そのさらに上にある立派な施設「飛騨・世界生活文化センター」の2階にあり、会議室は超満員で椅子を追加して開会を遅らせるほどの盛況ぶりだった。

まず、高山の漆畑由香弁護士の歓迎の挨拶があり、引き続き漆原弁護士の元同僚でもある川口創弁護士の「集団的自衛権で日本を滅ぼしてもいいのか？」のテーマで記念講演。

□記念講演 川口 創弁護士

イラク派兵違憲訴訟弁護団事務局長として、2008年の憲法9条1項違反の歴史的な違憲判決を得た。「憲法の破壊に抗う」はDVD「イラク戦場からの告発」(西谷文和)を見ながら迫力満点のお話だったが、特に次の二点に目が覚めた思いがした。

まずは「集団的自衛権行使」のアメリカからの要求を1994年の「北朝鮮攻撃計画への給油などの協力」を憲法9条の力によって拒否して以来、20年前からの懸案であること。次に「日本のイラク派兵は直接的には殺していないが、協力したことによる殺人の共同正犯(共犯)であって「加害者」であること。確かに我々は日頃から「被害者になりたくない」と言っているが、「加害者になってはいけない」との話は会場の参加者に強烈な感銘を与えたと思われる。

またDVD解説のかたちで「劣化ウラン弾」と「クラスター爆弾」に関してもリアルにその脅威とその後の後遺症などのあまりの惨さ、理不尽さに息をのむ思いであった。また「市民を巻き込む無差別爆撃の可能性の増大」についてもお聞きすることができた。

尚 現在はイスラム国を名乗るテロとの戦争になり「14歳以上の男性」はテロの可能性があると理由から無差別殺人の拡大に繋がる「一網打尽」の傾向があるとのこと。何と悲しいことなのか。

□各地区からの報告

- ◇高山 三島代表から歓迎の挨拶と2004年12月創立。今年も12月5日(土)13時30分よりコンサートと小森陽一さんの記念講演を開催。
高山仏教青年会の代表からも発表。
- ◇飛騨 3名の女性を代表して古川駅、高山駅での宣伝活動などを発表。(ギターを弾きながら街宣)
- ◇付知 活動の為、本日参加できなかった中津川も含めて、日頃の活動振りを披露。
九条の会参加率が50%を超える浸透は凄い。11月1日の岐阜市で開催の「ぎふ平和のつどい」にはバスで出掛けることになっていると、言われた。
- ◇海津 設立が昨年で、新しいパワーを感じさせる発表であった。先日「養老鉄道に乗って街宣しよう」を実現。
- ◇美濃加茂 先日(6月21日)、「泥憲和さんの講演会」を開催し大変好評だった。
- ◇岐阜 加藤久雄事務局長から「GSK活動(街頭・宣伝・活動)」が9月9日で109回目を達成。
これからも雨が降っても粘り強く実施していきます。と、力強く発表。

この他にも各地区からの発表があった。田園地帯では「軽トラにプラカード」で並んで走る活動を実施している地区もある。今まで岐阜市まで出掛けて活動していたが、地元での活動を始めた地区もある。

(「長良・九条の会」井深百合子、平塚澄子、井口篤郎 記)